

「ガン・メソセリオーマ・アルツハイマー病・自閉症・心臓血管病・痛み・白内障・モルゲレン病等の難治性疾患におけるアスベストの役割およびいかにして安全で効果的にアスベストを取り除くことができるか？」

Yoshiaki Omura, M.D., Sc.D., FACA, FICAE, FAAIM, FRSM

Director of Medical Research, Heart Disease Research Foundation; President, International College of Acupuncture and Electro-Therapeutics; Adjunct Professor, Department of Community and Preventative Medicine, New York Medical College  
Professor, Dept. of Non-Orthodox Medicine, Ukrainian National Kiev Medical University  
(Correspondence : Tel: (212) 781-6262; Fax: (212) 923-2279; Email: icaet@yahoo.com)

難治性疾患とアスベストの関係

今まで、アスベストによって発生するいくつもの病気の中で Asbestos によって Pleural membrane (胸膜)、Pericardium(心膜)や Peritoneal membrane (腹膜) 等に出来る Mesothelioma (中皮腫) という悪性の腫瘍が、病名だけは一番知られていますが、それに関する医学的知識は医者の間でも非常に限られています。その他に、アスベストを大量に肺へ吸い込むと、癌もできやすい。特にアスベスト及びタバコをたくさん吸っている人は、癌および Mesothelioma になる確率が高くなります。Mesothelioma には、3つの種類があって、1) Epithelioid type Mesothelioma, 2) Sarcomatoid type Mesothelioma, 3) Mixed type Mesothelioma の3種類があり、その頻度もこの順番に表れます。

最近、我々が発見したことですが、特に目と鼻に大量のアスベストが蓄積していると、脳腫瘍になる可能性が非常に高いということを見つけました。これより、アスベストの量が 2mg (BDORT Unit) 以上の場合は、脳腫瘍の Astrocytoma か又は特に悪性度の高い Glioblastoma Multiforme のある可能性をチェックする事が必要になりました。

又、アスベストが体内に蓄積している所では、いろいろな種類の病気に関係しているということもわかってきました。

我々の最新の研究で、Mesothelioma だけでなく、その他の悪性腫瘍、心筋梗塞、心不全、アルツハイマー病、自閉症、白内障、慢性難治性疼痛、拡張蛇行静脈やモルゲロン病(Morgellon's Disease) 等の主要な原因にアスベストが関係していることがわかってきました。

アスベストが異常に多く蓄積している時の、中皮腫や肺癌以外の他の疾患として、我々の研究の結果わかった病気を次の様にリストしました。

- ① 中皮腫 (Mesothelioma) と肺癌 (特に Adenocarcinoma of Lung)、Astrocytoma や Glioblastoma Multiforme を含む脳腫瘍、Breast Cancer, Colon Cancer その他の癌を含めた悪性腫瘍
- ② 心臓血管疾患 (Cardio-Vascular Diseases)
  - a) 心不全の左心室 (Left Ventricle of failing heart)
  - b) 心筋梗塞の病変組織 (Myocardial Infarct)
  - c) 脳循環障害 (Circulatory Disturbance of Brain)

- d) 悪性腫瘍に血液を供給する動脈 (Arteries Supplying Blood to Malignant Tumor)
- e) 動脈の閉塞した部分 (Occluded part of inner lumen of artery)
- f) Varicose Vein (拡張蛇行静脈)や Spider Vein(クモ状静脈)
- ③ アルツハイマー病(Alzheimer's Disease)及び自閉症(Autism)を含めた記憶およびモーター機能障害
- ④ 白内障 (Cataract)
- ⑤ 線維筋痛症(Fibromyalgia)を含む難治性慢性疼痛(Intractable Pain)と Chlamydia trachomatis あるいは Borrelia burgdorferi に感染した難治性関節痛
- ⑥ 電磁波過敏症 (Electro-Magnetic Field Hyper Sensitivity)
- ⑦ 難治性のかゆみ (Intractable Itching)
- ⑧ 閉経後の女性ののぼせ (Post Menopausal Hot Flash)
- ⑨ 禿げた頭 (Balding of Head)
- ⑩ 慢性の皮膚刺激、感染症の再発、アトピーを含めた難治性皮膚刺激 (Intractable Skin Irritation)
- ⑪ 目の下の皮膚の慢性の消え難い黒みがかかった所 (Dark pigmentation under eyes)
- ⑫ Morgellon's Disease (= Fiber Disease:原因がわかっていなかったが大量のアスベストによる事が私の研究で初めて解明された)

又、これ等の難治性の病気がアスベストを安全に取り除く事により、改善する可能性がある事が、我々の研究の結果、わかってきました。

今までこの様な医学的に重要な現象が見つけられていなかった理由の一番大きな原因は、アスベストが水に溶け難いので、簡単に出来る化学的検査法がなかったため、血液検査で、アスベストがどれだけ血液の中にあるかをテスト出来なかった事と、現在用いられている方法は TEM (Transmission Type Electron Microscope)の様に \$ 0.5 Million もする、限られた研究所にしかおけない様な高価で優れた方法ですが、生きた人間の体の中にあるアスベストを組織を切り取らないで調べるには、現在ある科学的装置では不可能でした。しかし、バイ・ディジタルオーリングテスト(BDORT)による2つの同一物質間の共鳴現象を応用する事により、簡単に体のいろんな所にアスベストの有無及び量も BDORT Units で比較する事が出来るため、この様な研究が可能になりました

アスベストは BDORT 以外には、生体内に蓄積しているアスベストの量や場所を調べることができませんが、BDORT によって、様々な疾患を調べることで、いろいろな病気の原因になっていることがわかりました。

又、アスベストが体内に蓄積している所では、いろいろな種類の病気に関係しているということもわかってきました。

心臓の Failing Heart (心不全)とか、Myocardial infarction (心筋梗塞)とか、心臓の血管がつまった場所では、アスベストが異常に増えている。そのため、アスベストを調べることによって、簡単にいろいろな病気のスクリーニングをする事も可能になりました。アスベストは、頭のはげた人の頭にも比較的大量にたまっている人が多い。

そういう人で目と鼻に大量のアスベストが蓄積している場合は、脳腫瘍である Astrocytoma や Glioblastoma Multiforme になる可能性が非常に高い。Glioblastoma Multiforme で亡くなった人の MRI の写真を調べると、目と鼻及び脳腫瘍の Core に大量のアスベスト (2mg BDORT Units 以上) が蓄積している。

アスベストが多い所には、必ず循環障害があって、Thromboxane B2 が高くなっています。鼻に 2~6mg の大量のアスベストが蓄積している人では、脳には Astrocytoma や Glioblastoma がある可能性が非常に高くなります。このアスベストを取り除くと、脳腫瘍の反応がなくなります。これは、脳腫瘍がなくなるわけではなくて、脳腫瘍が活動している時に出てくる癌の反応が一時的に停止状態になってしまうからです。ところが、O-リングテストで強いマイナスの服を着たり、持っただけで、再び脳腫瘍の反応がでてくる場合があります。だから、アスベストだけでなく、着ている物も非常に腫瘍に影響を及ぼすことがあります。

### **Mesothelioma と我々が知っている普通の悪性腫瘍との一番大きい違いは何か？**

BDORT でこれ等の局在している組織を調べると、次のことがわかった。普通の癌の場合は、Telomere (テロメア) とか Integrin  $\alpha_5\beta_1$ 、Oncogene C-fos Ab2 が増えて、水銀が増え、Thromboxane B2 も増えています。そして、アセチルコリンが非常に減って 1fg 以下になるわけですが、Mesothelioma の場合は、普通よく知られているような癌特有の大きな変化は起きなくて、Integrin  $\alpha_5\beta_1$ 、Oncogene C-fos Ab2 はあまり高くない (5~50ng BDORT Units)。アセチルコリンも 50~100 $\mu$ g に減っても 1fg 以下の様に極端に低くならない。それで、Integrin  $\alpha_5\beta_1$ 、Oncogene C-fos Ab2 で、いくらスクリーニングを行っても、ひっかかり難いわけです。テロメアも、普通の癌の時は、正常の細胞のテロメアよりはるかに高くなるけれども、Mesothelioma では比較的少ししか増えない。これが非常に重要な点で、Mesothelioma を見つけるには、量の大きいアスベスト (0.5mg の Asbestos RCS) が反応することを調べたり Mesothelioma の顕微鏡スライドで強い共鳴があるかどうかを調べるか胸部や腹部の PA & Lateral X-ray 或いは PET Scan に特有な変化が胸壁や腹壁に出ているれば見つけることができる。Mesothelioma の中心には 0.3mg~0.7mg BDORT Units 或いはそれ以上にアスベストがある事が多く、そこにはグルコースが少ししか入らないため胸壁 PET Scan に黒い斑紋が肋骨のある所に出、正常にグルコースの入っている明るい所に囲われた特徴的なパターンとして現れる。Mesothelioma では Osteopontine と GRP (Gastrin Releasing Peptide) が増えていることが最近の研究でわかってきた。特に著者の研究の結果、GRP の上昇は Osteopontine より大きいので、診断には重要である。

### **アスベストはどこから体に入ってくるのか？**

一般に多いのは次の3つである。1) 室の壁や天井がアスベストの入っているもので出来ている時 2) 飲んでる水の中にアスベストが入っている場合 3) 卵黄に大量のアスベストが入っている物が多い事が著者の最近の研究でわかって来た。

### **アスベストを身体から安全に取り除く効果的な方法は？**

我々の研究の結果、1回だけの適量のDHEAを服用すると、30%~90%のアスベストを取り除くことができるようになった。岡山の林原生物化学研究所で作られているシラントロ・タブレットの適量も、アスベストをより効果的に取り除く(60%-95% Asbestos)。一番、効果のあるのは、(+Polarity)のソーラーエネルギーを蓄えた紙を使用した場合です。

アスベストが多い所には、循環障害がありますが、そこに、オーリングテスト・ネガティブのものをくっつけると、循環障害がさらにひどくなります。その様な異常部に対して適量のDHEA(Dehydro Epi-Androsterone)を1回投与するか、林原生物化学研究所から出ているシラントロ・タブレットの適量を飲むか、プラス(+ )のソーラーエネルギーを蓄積した紙を当てるか、プラスのエネルギーの入った気功紙を当てるかすると、アスベストが減少し、循環障害も改善されます。

ソーラーエネルギーを蓄積した紙の(+ )の面を10秒間当てただけで、症状が改善し、その後もアスベストが90%以上減った状態になった人も何人もいます。

Fibromyalgiaで30年間、難治性疼痛で苦しんでいた人がいましたが、その人にも難治性疼痛のある場所には大量のアスベストが蓄積していました。適量のDHEAを1回投与するとテロメアが20ngだったものが、525ngに増え、アスベストが減少し、症状が一時改善した例もありますがアスベストが充分取れていなかった場所では痛みは、またもどって来ます。

#### Reference

- 1) Omura, Y. Beneficial effects and side effects of DHEA: true anti-aging and age-promoting effects, as well as anti-cancer and cancer-promoting effects of DHEA evaluated from the effects on the normal and cancer cell telomeres and other parameters. *Acupunct Electrother Res.* 2005;30(3-4):219-61.
- 2) Omura, Y. Asbestos as a possible major cause of malignant lung tumors (including small cell carcinoma, adenocarcinoma & mesothelioma), brain tumors (i.e. astrocytoma & glioblastoma multiforme), many other malignant tumors, intractable pain including fibromyalgia, & some cardio-vascular pathology: safe & effective methods of reducing asbestos from normal & pathological areas. *Acupunct Electrother Res.* 2006;31(1-2):61-125.

学術論文のバックナンバーは、Acupuncture & Electro-therapeutics, Research, The International Journal Published by Cognizant Communication Corp. (3 Harts Dale Elmsford, New York 10523-3701, U.S.A. TEL: (1)(914)592-7720、FAX: (1)(914)592-8981)に掲載されている。

問い合わせ先：日本バイ・デジタルオーリングテスト協会 (TEL: 0942-38-4181、FAX: 0942-37-4131、e-mail: [info@bdort.net](mailto:info@bdort.net)、URL:<http://bdort.net/>) 大村恵昭(New York) (TEL:+1-212-781-6262、FAX:+1-212-923-2279、e-mail: [icaet@Yahoo.com](mailto:icaet@Yahoo.com)、URL:<http://icaet.org/>)